

報道関係者各位

平成 20 年 10 月 10 日

株式会社コーチ・エイ

コーチング・アワード2008受賞企業発表

～コーポレート・コーチング・シンポジウムにて授賞式が行われ、受賞企業が事例を紹介～

日本におけるコーチングのリーディングカンパニー、株式会社コーチ・エイ(東京都千代田区 取締役社長 鈴木義幸)は、10月7日(火)、今年で7回目を迎える「コーポレート・コーチング・シンポジウム 2008」を開催。人材育成や組織活性を目的にコーチングを活用した成果事例やソリューションのほか、例年注目を集める「コーチング・アワード」を発表いたしました。

【コーチング・アワードとは】

コーチングを軸に組織に対して革新的な取り組みを行い、変化や成果をもたらされた企業に対してコーチAが年間数百社の実績の中から数社を認定するもの。2002年の初回から2007年度までに18社が受賞している。

＜コーチング・アワード 2008 受賞企業＞

受賞企業	受賞理由
アサヒビール株式会社	「部下の能力を100%引き出す組織づくり」を目指し、所属長約170名を対象にしたコーチング・プログラムを3年にわたり長期、継続、集中的に導入。同一対象者に一貫して実施することで、職場でのコーチ型アプローチの定着が進み、企業風土診断のポイントが上昇している。
ソニー株式会社	経営トップの高いコミットメントの下で遂行する「次世代経営者育成プログラム」の中で、知識を実践に結びつける方法としてコーチングを導入。社内モラルサーベイの結果、受講生の7割にコミュニケーションの改善が見られたほか、課題解決にむけた具体策の実践度合いが向上している。
東京海上日動火災保険株式会社	職場全体をコーチングの対象とした先駆的な取り組みが実施された。コミュニケーションの活性化により組織力が向上し、他部門や代理店との連携強化が実現。一人当たりの業務効率が向上している。また、プログラム終了後も成長する組織づくりにむけた取り組みが継続されている。



左から、アサヒビール 藪内清悟氏、ソニー 古寺猛生氏、東京海上日動火災保険 渡辺善雄氏。

【参考】

■コーポレート・コーチング・シンポジウム 2008 について

今年で7回目を迎える、コーチングを活用した成果事例、およびソリューション発表の場。

昨年に引き続き六本木アカデミーヒルズで開催された。今年のテーマは「組織のコミュニケーション戦略をデザインする」で、組織内で発生するコミュニケーションを組織戦略の中に位置づける企業・組織の事例が多数紹介された。参加者数は、企業の人事、経営企画部などに属する担当者を中心に、過去最高の約 350 名に及んだ。

コーチング・アワードの事例発表では、企業がかかえる課題とその克服事例について、組織の成長を推し進めるための様々な取り組みとその成果を出した当事者である企業のご担当者様が、自ら発表しました。

また、分科会やパネルディスカッションでは「組織のコミュニケーション戦略」をキーワードに、自律した人材、組織づくりにむけた取り組みやソリューションについて、企業のご担当者様をはじめ、執行役員、弊社コーチによる活発なコミュニケーションが交わされた。

■ 過去3年間のコーチング・アワード受賞企業

<2007 年>

- ・ カシオ計算機株式会社
- ・ ダイキン工業株式会社
- ・ 株式会社ヨークマート

<2006 年>

- ・ KDDI 株式会社
- ・ 株式会社サンエー・インターナショナル
- ・ 日本ケミファ株式会社

<2005 年>

- ・ セント・ジュード・メディカル(旧ゲッツブラザーズ)株式会社
- ・ 武田薬品工業株式会社

【上記の件に関するお問合せ】

株式会社コーチ・エイ 広報担当 大谷恵、田上誠司

TEL:03-3237-8815 FAX:03-3237-8817 E-mail:info@coachA.com